

北上線を利用しキャンプ ふれあいサマーキャンプin西和賀

ふれあいサマーキャンプin西和賀(NPO法人フォルダ主催)は4日・5日、西和賀町焼地台公園キャンプ場で開催されました。小学生39人が参加し、北上駅から北上線を利用。ほっとゆだ駅からキャンプ場まで徒歩で移動しました。冒険家の小松由佳さんを講師に迎え、テント設営や夕飯づくり、川遊びなどを行いました。参加した石川未來さん(黒沢尻東小4年)は「ご飯を炊くのが難しくて硬くなった。みんなと花火をしたのが楽しかった」と感想を話していました。

班ごとに協力し、工夫をしながらテント設営を行いました



各チームの代表者は緊張した表情を浮かべ、一生懸命コマを回していました

日ごろの技術をコマに 全日本製造業コマ大戦北東北予選北上場所

全日本製造業コマ大戦北東北予選北上場所は7月19日、ブランニュー北上で開催されました。同大会は全国の中小製造業が規定のコマを製作し、土俵上で競うものです。北上場所には17チームが参加。日ごろの技術を駆使し製作したコマで熱戦を繰り広げ、上位4チームが東日本予選への進出を決めました。

優勝は(有)ウスイ製作所(村崎野)。コマを回した菊池敏郎工場長は「緊張したが優勝できてよかった。次の大会でも一回戦を突破したい」と話していました。

イワナの手づかみに挑戦 和賀川ざっこフェスタ2014

和賀川ざっこフェスタ2014「小学生イワナつかみとり大会」(和賀川淡水漁業協同組合主催)は7月20日、和賀川ふれあい広場で開催されました。北上市遊漁推進事業補助金を活用して行われ、小学生63人が参加。参加者は広場内の釣り堀に放たれたイワナを瞬時に追い詰めたり、袋を使うなど工夫して捕まえていました。

小笠原助維君(黒沢尻東小3年)は姉の杏莉さん(5年)、妹の球衣さん(2年)と参加し、「魚がぬめぬめしていて捕まえるのが難しかった」と話していました。

逃げる魚を懸命に追い工夫しながら捕まえています



訪れた人たちは山田貫首の言葉を熱心に聞いていました

共に生きる大切さを説く 中尊寺貫首が青空法話

第11回歴史・文化講座「青空法話」(和賀地区自治協議会主催)は7月26日、国指定重要文化財の多聞院伊澤家に隣接する久那斗神社境内で開催されました。中尊寺貫首の山田俊和氏が「共に生きる」を演題に法話。地域住民ら約120人が集まりました。山田貫首は共に助け合い生きることを強調。法話を聞いた藤原ヨシさん(和賀町岩沢)は「自分たちに分かりやすく話してくれた。思いやりをもって生きていかなければならないと思った」と感想を話していました。

英語でコミュニケーションを 英語キャンプ in Kitakami

英語キャンプin Kitakami は4日・5日、ふるさと体験館「北上」で開催されました。市内の中学生20人が参加。市教育委員会の英語指導助手、ロナルド・リオネⅡさんとハウエル・ウェイドさんが講師を務めドッジボールなどのアクティビティを行いながら英語のみで2日間を過ごしました。

参加した亀井春花さん(南中2年)は「英語でのコミュニケーションは難しいが前より話せるようになって帰りたい」と意欲的に取り組んでいました。

英語での掛け声を学びながら、ドッジボールを楽しみました



水神発電所内で施設の歴史などの説明を受ける参加者

自然エネルギーを学ぼう 水神発電所・かむいソーラー施設見学会

水神発電所・かむいソーラー施設見学会～親子で学ぼう！自然エネルギー～は5日、水神発電所などで行われました。今年で発電開始から100年を迎える水神発電所では、普段入ることのできない発電所の建屋の内部を見学。水力発電の仕組みや昭和の初期に落雷で火災が発生したことなど発電所の歴史や現在の状況について説明を受けました。その後、金ヶ崎町の北上ヘリポートや北上技術センターなどを見学し半日かけて花北地域のエネルギーについて学びました。

百歳いつまでもお元気で！

谷勝好さん

相去町にお住まいの谷勝好さんが百歳を迎え13日、自宅に高橋市長が訪問し祝い状と記念品を贈りました。勝好さんは大正3年8月13日生まれ、28歳で故スエさんと結婚し、子3人、孫7人、ひ孫9人に恵まれています。戦前から理容業を営んでいましたが入隊。戦争が終わると妻の実家のあった相去町に帰還し、相去町に理容店を構え91歳まで営業を続けました。

谷さんは、たくさんの家族に囲まれ「親戚が集まってくれて嬉しい」と喜んでいました。

高橋市長と記念撮影を行う、谷さんと家族の皆さん



更木産直市では整備されたステージから餅まきが行われました

宝くじの助成金で地域振興 イベントステージを整備

更木町振興協議会(駒込昌平会長)は(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業(一般コミュニティ助成事業)を活用し、イベントステージを整備しました。ステージは折りたたみ式で組み立てやサイズ調整が簡単に行えます。11日の更木産直市で初披露され、餅まきに使用されました。

平野直志副会長は「次回は、縄文まつりに使用する予定。桑茶新茶まつりなど、さまざまな地域のイベントに活用していきたい」と話していました。